

2017年度 報告書



青山学院大学保健管理センター

巻頭言

保健管理センター所長 五味 慎太郎
保健管理センター副所長 小菌 康範

国内国外を問わず、昭和の時代に築かれた様々なインフラが、平成の終ろうとしている今、あちらこちらできしみ始めています。壊れたところを一時しのぎになおすだけでなく、100年、200年先を考えた持続可能な社会システムを早急にデザインしなおさないと、もう数年ももたないのではないかと危惧しています。世界的には覇権バランスの変化と情報・資産のボーダーレス化、国内的には少子高齢化と天災の大規模化が、それだけでなくもよたよた漂っている日本を一気に沈没させかねない勢いとなっています。天災多発はともかく、少子高齢化は30年以上前から言われ続けながら無策のまま現在に至り、もはや手遅れとしか思えません。ただし、年金・医療などはまだ間に合うと思われまます。国としての一刻も早い抜本的な対策を望みます。

青山学院においてもこうした社会情勢を受けて、新学部開設、学部改組、専門職大学院改革、短大改革、新図書館など、さまざまな改革が矢継ぎ早に行われています。そうした流れを受けて2017年には環境安全センターが、2018年には障がい学生支援センターが開設されました。とくに障がい学生支援センター発足に際しては、障がい学生支援センター、保健管理センター、学生相談センターの3センターが統合されて学生支援課に改組され、今後の業務連携が期待されています。また、環境安全センターとも協力して、学生教職員の使用する試薬を一元管理するシステムを構築し、有機溶剤、特定化学物質の使用者と使用施設を明確にしました。

保健管理センターでも独自に業務改善を日々模索しておりますが、各種法令に縛られた硬直的業務が多く、なかなかもどかしいところです。現在は保健管理センター主催のセミナーを定期的に開催すべく努力しております。2017年度は学生の集団健康教育として7つのセミナー（たばこ・睡眠・熱中症・性感染症・エイズ・飲酒・海外留学医療）を実施し、概ね好評でした。2017年度には輸入感染症とみられるパラチフス、デング熱、A型肝炎に罹患した学生が確認されており、海外渡航への注意喚起や知識を与える場を今後も提供していく必要があると思われまます。一方、教職員の健康診断血液検査有所見率は68.8%と高く、40歳以上の男性の肥満（BMI \geq 25）割合が全国平均を上回っていることもあり、教職員対象の集団教育としては「血糖」と「食事」をテーマに2回のセミナーを行いました。とくに教職員は雇入時年齢が37.7歳と高いこともあり、入職時から生活習慣病関連有所見者が半数以上にのぼり、できるだけ早い段階からの教育・指導が大切と考えております。

2016年度から開始されたストレスチェックは2年目を終え、受検率も60.8%から68.1%へと上昇しました。学院全体としてのストレス状態は全国平均並みでしたが、一部に全国平均を上回る部署があり、職場としての改善対策が今後の課題です。

厳しい環境の中ではありますが、皆様の温かいご指導ご鞭撻を今後ともよろしく願いいたします。

目次

2017 年度業務報告

1. 年間業務内容.....	4
2. 学生定期健康診断.....	6
①学生定期健康診断受診状況（全キャンパス）.....	6
②学生定期健康診断 項目別受診率（キャンパス別）.....	7
③学生定期健康診断 有所見者の経過（全キャンパス）.....	8
④学生の身体状況（肥満とやせ）.....	8
⑤学生集団健康教育.....	9
⑥感染症罹患報告者数.....	11
⑦学生の休学・退学者数.....	12
3. 教職員定期健康診断.....	13
①教職員定期健康診断 項目別受診率（キャンパス別）.....	13
②教職員定期健康診断 有所見者の経過（全キャンパス）.....	14
③教職員の身体状況（肥満とやせ）.....	14
④保健指導と集団健康教育.....	16
⑤教職員の休職・復職者数（対象：学院全体）.....	17
⑥長時間労働者への産業医による面接.....	17
⑦ストレスチェック受検率に関する報告（対象：学院全体）.....	18
4. その他の法定健康診断.....	19
①特殊健康診断（相模原キャンパス）.....	19
②雇入時の健康診断.....	20
③特定業務従事者健康診断.....	21
5. 健康診断証明書発行業務.....	22
①青山キャンパス健康診断証明書発行枚数.....	22
②相模原キャンパス健康診断証明書発行枚数.....	22
6. 救急処置・検査等保健管理センター利用状況.....	23
①青山キャンパス.....	23
②相模原キャンパス.....	24
7. 各キャンパス業務内容利用状況.....	25
①青山キャンパス.....	25
②相模原キャンパス.....	27
8. 行事のための救急待機保健管理センター利用状況.....	28

9. 各種情報処理.....	29
①学生健康診断処理関係.....	29
②教職員健康診断処理関係.....	29

I.2017 年度業務報告

1. 年間業務内容

月	業務	対象	備考
4月	入学式(学部・大学院)(4/1) 学生定期健康診断(4/1・3~6) 学生定期健康診断(4/3~6) 定期健康診断未検者外部健診施設紹介及び事後処理 精神衛生相談(精神科医)開始(4/7~通年) 学生定期健康診断後の二次検診 腎・泌尿器二次検診 循環器二次検診及び循環器管理者検診<心電図・血圧・医師診察> 呼吸器二次検診<胸部X-P・医師診察> 内科・血圧二次検診 問診調査・聴力検査・視力再検査・有疾患者医師面接 尿検査未検者健診 介護体験実習用細菌検査受付開始(4/21~通年) 健康診断証明書発行業務 健康診断証明書発行(4/25~通年) 英文診断書発行(4/25~通年) 卒業生(有疾患者)進路調査	学生 学生 学生 学生 学生 学生 学生 学生 学生 学生 学生 学生 学生 学生	青山 青山 相模原 青山・相模原 青山・相模原 青山・相模原 青山・相模原 青山・相模原 青山・相模原 青山・相模原 青山・相模原 青山・相模原 青山 青山
5月	特定化学物質・有機溶剤・電離放射線健康診断(5/10~12) 学生定期健康診断後の二次検診 腎・泌尿器二次検診 循環器二次検診及び循環器管理者検診<心電図・血圧・医師診察> 内科・血圧二次検診 問診調査・聴力検査・視力再検査・有疾患者医師面接 BMI 有所見者保健指導 未検項目検診 専門職大学院入試救護待機(5/20) 保健管理センター世界禁煙デーイベント(5/31~6/6)	学生・教職員 学生 受験生 学生・教職員	相模原 青山・相模原 青山 青山
6月	教職員疾病管理者検診 特定化学物質・有機溶剤・電離放射線二次検診、医師面接 常設救急箱点検 Aoyama Rikei Girls フェア救護待機(6/10) 保健管理センター運営委員会(6/28)	教職員 学生・教職員 保健管理センター 受験生 運営委員	相模原 相模原 相模原 相模原 青山
7月	大学院博士前期課程7月入試救護待機(7/1) 専門職大学院入試救護待機(7/8) 保健管理センターセミナー(7/12・19・20・21) オープンキャンパス救護待機(7/16)	受験生 受験生 学生 来校者	相模原 青山 青山 相模原
8月	オープンキャンパス救護待機(8/3・4・5) 第55回大学保健管理協会関東甲信越地方部会研究集会(8/31・9/1)	来校者 保健センタースタッフ	青山 青山・相模原
9月	大学院博士前期課程9月入試救護待機(9/9) 推薦・特別・編入・転学部転学科入試救護待機(9/16・30) 特定化学物質・有機溶剤健康診断(9/21・22) 青山学院大学同窓祭救護待機(9/23) 教職員定期健康診断(9/25・26) 教職員定期健康診断(9/26~29) 特定化学物質・有機溶剤・電離放射線健康診断(9/25・26)	受験生 受験生 学生 同窓生 教職員 教職員 教職員	相模原 青山 相模原 青山 相模原 青山 相模原

月	業務	対象	備考
10月	特定化学物質・有機溶剤・電離放射線二次検診、医師面接 保健管理センターセミナー (10/4・19) 専門職大学院入試救護待機 (10/7・9・21) 相模原祭救護待機 (10/7・8) 推薦・特別・編入・転学部転学科入試救護待機 (10/14) 青山学院エバーグリーン募金イベント救護待機 (10/28)	教職員 学生 受験生 学生・来校者 受験生 来校者	相模原 青山 青山 相模原 青山 青山
11月	教職員健康診断二次検診 教職員疾病管理者の医師面接 教職員保健指導(11月～1月) 青山祭救護待機(11/3・4・5) 推薦・特別・編入・転学部転学科入試救護待機(11/11・23・25) 推薦入試救護待機(11/11・25) 保健管理センターセミナー(11/22・24) 学生疾病管理者・有疾患者面接・検査 (11/27～12/8) 学生疾病管理者・有疾患者保健指導 (11/27～12/15) 保健管理センター世界エイズデーイベント(11/27・12/1) 第55回全国大学保健管理研究集会 (11/29・30)	教職員 教職員 教職員 学生・来校者 受験生 受験生 学生・教職員 学生 学生 学生・教職員 保健センタースタッフ	青山・相模原 青山・相模原 青山 青山 青山 相模原 青山 相模原 青山 青山 青山・相模原
12月	八大学担当者会議(12/5) 保健管理センターセミナー (12/8・13) 専門職大学院入試救護待機 (12/10)	保健センタースタッフ 教職員・学生 受験生	青山・相模原 青山 青山
1月	教職員疾患管理者検診 大学入試センター試験救護待機 (1/13・14) 専門職大学院入試救護待機(1/20)	教職員 受験生 受験生	相模原 青山 青山
2月	一般入試救護待機(2/7・10・11・13・14・15・18・19・21) 専門職大学院入試救護待機 (2/3・17・24)	受験生 受験生	青山 青山
3月	教職員疾病管理者検診 特定業務従事者健康診断(3/13) 学位授与式(学部・大学院)救護待機(3/24) 有疾患学生管理検診の通知発送 卒業生(有疾患者)進路調査 医薬品在庫調査・常設救急箱点検 医薬品在庫調査	教職員 教職員 学生・来校者 学生 学生 保健管理センター 保健管理センター	相模原 相模原 青山 青山・相模原 相模原 青山 相模原

保健管理センター通年業務

- * 救急処置
- * 学生健康診断、教職員健康診断
- * 健康相談
- * 保健指導
- * 各種健康診断証明書発行
- * 各種届け出及び申請書の作成 (医療廃棄物処理・結核予防法)
- * 教職員の休職、復職支援、長時間労働等に関する産業保健業務
- * 診療及び保険診療報酬請求事務
- * 精神衛生相談
- * 集団健康教育
- * 各種業務統計(労働基準監督署・文部科学省・保健所・年報等)

2. 学生定期健康診断

①学生定期健康診断 受診状況（全キャンパス）

（2017年4月24日現在・・・地球社会共生物学部留学帰国生のみ7月19日現在）

学部		学年・性別	学 年 別					性 別		合 計
			一年生	二年生	三年生	四年生	大学院 専門職大学院	男	女	
昼	文学部	学生数	725	837	825	845	—	821	2411	3232
		受診者数	699	694	695	731	—	680	2139	2819
	教育人間科 学部	学生数	318	337	347	367	—	402	967	1369
		受診者数	316	316	329	345	—	374	932	1306
	経済学部	学生数	515	643	561	630	—	1518	831	2349
		受診者数	498	489	431	516	—	1211	723	1934
	法学部	学生数	478	549	510	567	—	1129	975	2104
		受診者数	469	451	403	467	—	915	875	1790
	経営学部	学生数	515	599	551	617	—	1224	1058	2282
		受診者数	512	488	454	513	—	1011	956	1967
	国際政治経済 学部	学生数	303	326	325	344	—	574	724	1298
		受診者数	300	268	258	274	—	471	629	1100
総合文化政策 学部	学生数	257	276	287	305	—	381	744	1125	
	受診者数	253	239	238	263	—	316	677	993	
理工学部	学生数	638	642	777	636	—	2153	540	2693	
	受診者数	630	602	702	602	—	2011	525	2536	
社会情報学部	学生数	229	269	241	237	—	624	352	976	
	受診者数	227	257	207	194	—	551	334	885	
地球社会共生物学部	学生数	185	240	238	—	—	237	426	663	
	受診者数	177	226	220	—	—	220	403	623	
昼間部合計	学生数	4163	4718	4662	4548	—	9063	9028	18091	
	受診者数	4081	4030	3937	3905	—	7760	8193	15953	
	受診率	98.0	85.4	84.4	85.9	—	85.6	90.8	88.2	
第 二 部	文学部	学生数	—	—	—	3	—	3	0	3
		受診者数	—	—	—	1	—	1	0	1
	経済学部	学生数	—	—	—	0	—	0	0	0
		受診者数	—	—	—	0	—	0	0	0
	経営学部	学生数	—	—	—	0	—	0	0	0
		受診者数	—	—	—	0	—	0	0	0
第二部合計	学生数	—	—	—	3	—	3	0	3	
	受診者数	—	—	—	1	—	1	0	1	
	受診率	—	—	—	33.3	—	33.3	—	33.3	
大学院・専門職大学院	学生数	—	—	—	—	1225	821	404	1225	
	受診者数	—	—	—	—	840	560	280	840	
	受診率	—	—	—	—	68.6	68.2	69.3	68.6	
総合計	学生数	4163	4718	4662	4551	1225	9887	9432	19319	
	受診者数	4081	4030	3937	3906	840	8321	8473	16794	
	受診率	98.0	85.4	84.4	85.8	68.6	84.2	89.8	86.9	

*上記は科目等履修生(学生数151名、受診者数21名、受診率13.9%)、専門職大学院後期入学者(学生数9名、受診者数3名、受診率33.3%)を除く

②学生定期健康診断 項目別受診率（キャンパス別）

青山キャンパス

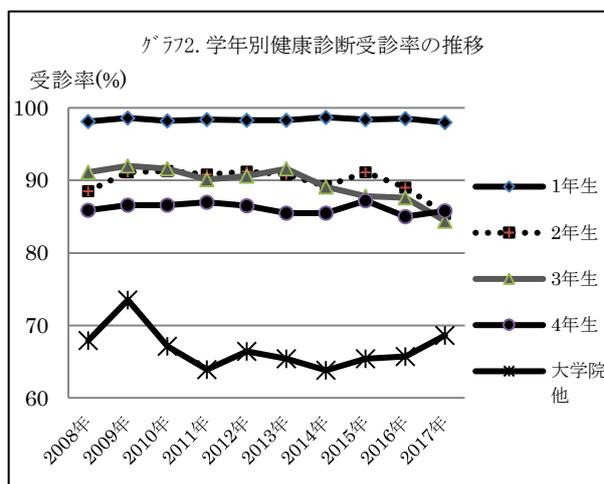
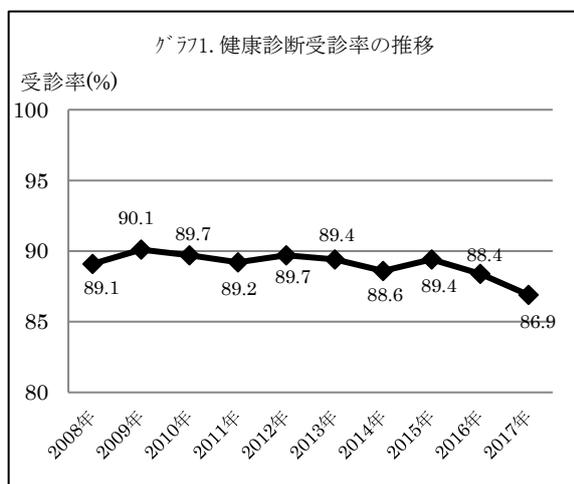
(2017年4月24日現在)

健診項目	対象者数	受診者数			受診率(%)		
		男	女	合計	男	女	合計
身体計測	14730	5224	7178	12402	79.2	88.3	84.2
問診	14730	5224	7178	12402	79.2	88.3	84.2
レントゲン	14730	5222	7174	12396	79.2	88.2	84.2
視力	11619	3974	5364	9338	74.8	85.0	80.4
内科診察	7757	2871	3945	6816	81.4	93.3	87.9
尿検査	7757	2868	3886	6754	81.3	91.9	87.1
血圧測定	3567	1275	1697	2972	78.4	87.5	83.3

相模原キャンパス

(2017年4月24日現在・・・地球社会共生学部留学帰国生のみ7月19日現在)

健診項目	対象者数	受診者数			受診率(%)		
		男	女	合計	男	女	合計
身体計測	4723	3115	1303	4418	92.6	95.9	93.5
問診	4723	3115	1303	4418	92.6	95.9	93.5
レントゲン	4723	3114	1303	4417	92.5	95.9	93.5
視力	3662	2409	977	3386	91.4	95.1	92.5
内科診察	2349	1663	575	2238	94.3	98.3	95.3
尿検査	2350	1661	570	2231	94.1	97.4	94.9
血圧測定	1154	741	371	1112	96.1	96.9	96.4



2017年の学生健康診断受診率は、主に2年生、3年生の受診率低下により、過去10年で最も低い86.9%であった。昨年同様学年、学部指定日以外の受診も可能とし、また、健康診断当日には適宜混雑情報を学生ポータルに配信して受診を促し、さらに今年度から学部必須の留学のため健康診断を受診できない地球社会共生学部の学生に対しては7月に受診の機会を設けたが、受診率の上昇にはつながらず、受診率をあげる事が今後の課題である。

学部別受診率を比較すると、教育人間科学部(95.4%)、理工学部(94.2%)、地球社会共生学部(94.0%)が高く、経済学部(82.3%)、国際政治経済学部(84.7%)が低く、学部による受診率の差は、毎年同じような傾向にある。社会人学生の多い専門職大学院生の受診率は昨年の48.3%から54.9%とやや上昇したものの、依然低い傾向にある。

③学生定期健康診断 有所見者の経過（全キャンパス）

健診項目	有所見者数	有所見率 (%)	有所見者の経過 ()内:人数			
			医師判定にて問題なし	要経過観察	要治療又は治療中	未来室者数
レントゲン 間接撮影	215	1.3	所見あるも問題なし(194) 要直接撮影(7)	肋骨異常(1) 脂肪腫(1) 心室中隔欠損術後変化(1) 軟部陰影(1) 右上肺石灰化(1) 右下肺結節影(1) 縦隔術後(1) 側弯(3)	浸潤影(1) 心膜嚢胞(1) 空洞肺部分切除(1)	1
レントゲン 直接撮影	5	60.0	2		間質性肺炎疑い(1) 胸腔内肋骨疑い(1)	1
循環器(心臓)	50	0.6	異常なし(27) 所見あるも問題なし(12) 病院受診にて問題なし(2)	僧房弁閉鎖不全症(3) 上室性不整脈(1) 心室性期外収縮+右脚ブロック(1) 高血圧+洞性頻脈(1)	総動脈硬化(1) 肺動脈狭窄症(1)	1
内科 (貧血・他)	53	0.6	異常なし(36) 所見あるも問題なし(1)	甲状腺腫大(3) 甲状腺腫(1) 腺腫様甲状腺腫(2) 甲状腺機能低下(1) 貧血(6)	バセドウ病(2)	1
腎・泌尿器	269	3.0	異常なし(151)	血尿(3) 血尿+蛋白尿(1) 蛋白尿(14) 尿沈渣異常(23) 先天性のデント病(1) 腎性尿糖(1)	糖尿病(3) 腎性糖尿(1) 再検査未提出(28) 慢性腎炎(1) 慢性腎炎症候群疑い(1) IgA腎症(4) 巣状糸球体硬化症(2) 基底膜非薄化症候群(1) 病名未報告(2) 受診結果未報告(4)	28
血圧	121	3.0	異常なし(83) 所見あるも問題なし(22)	高血圧(11)	高血圧(4) 受診結果未報告(1)	

学生定期健康診断における有所見者はのべ713人であった。有所見者に対しては再検査や病院紹介等を行っているが、精密検査の結果問題なしは537人、経過観察は83人、要治療（治療中含む）の学生は61人であった。定期健康診断で発見された疾患は、バセドウ病、IgA腎症、糖尿病、鉄欠乏性貧血などである。又、治療が必要にも関わらず治療を中断している学生や、循環器疾患等で経過観察を中断している学生、精神的な問題を抱えている事が明らかな学生に対しては、内科医や精神科医による医師面談等を実施し、受診奨励を行った。

④学生の身体状況（肥満とやせ）

1) 身長・体重・BMIの平均値 性×学年別

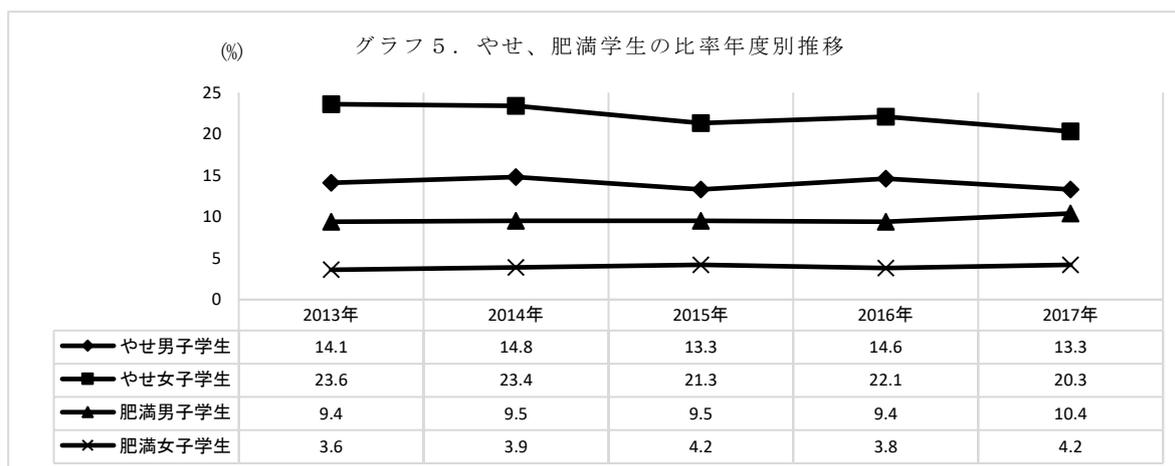
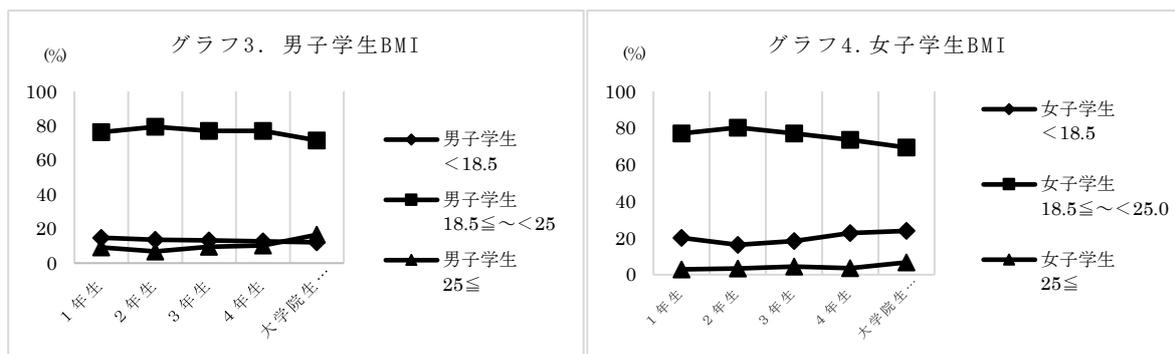
(2017年4月24日現在)

学年	平均値	男子学生				女子学生			
		身長	体重	BMI	平均年齢	身長	体重	BMI	平均年齢
1年生		171.8	62.6	21.2	18.4	158.4	50.8	20.2	18.2
2年生		171.6	62.1	21.1	19.4	158.9	51.9	20.6	19.2
3年生		172.0	63.1	21.3	20.6	158.9	51.8	20.5	20.3
4年生		172.2	63.4	21.3	21.8	158.7	50.9	20.2	21.5
大学院生 専門職大学院生		171.6	64.9	22.0	26.0	159.7	52.9	20.7	28.0
全体平均		171.8	63.2	21.4	21.2	158.9	51.7	20.4	21.4

2) 学年別やせの者・正常者・肥満者の割合 性×学年別

(2017年4月24日現在)

学年	男子学生			女子学生		
	<18.5 (やせ)	18.5≤~<25 (正常)	25≤ (肥満)	<18.5 (やせ)	18.5≤~<25 (正常)	25≤ (肥満)
1年生	14.8	76.2	9.1	20.1	77	2.9
2年生	13.7	79.4	6.8	16.3	80.3	3.3
3年生	13.3	77.1	9.6	18.4	77	4.5
4年生	12.7	77.1	10.2	22.8	73.6	3.6
大学院生 専門職大学院生	12.1	71.5	16.5	23.9	69.4	6.7
全体平均	13.3	76.3	10.4	20.3	75.5	4.2



平均身長、平均体重とも全学年を通して毎年大きな変化はない。体格指数 (BMI) を全国平均 (2015年学生の健康白書) と比較しても、男子学生はやせの割合がやや高く、肥満の割合がやや少ないのに対し、女子学生はやせの割合がかなり高く、肥満の割合が少ない傾向が続いている。

青山キャンパスでは、BMI15以下とBMI30以上の学生を対象に個別面談 (体調確認・保健指導) を行い、BMI30以上の学生に年2回、肥満予防に関する保健便りを発行している。やせの学生は18名中13名 (72.2%) が来室したが、肥満の学生については136名中69名 (50.7%) の来室にとどまっており、呼び出しのタイミングやアプローチの方法を工夫していく必要がある。相模原キャンパスではBMI15.4未満のやせの学生を対象に個別面談を行い、5名中4名 (80.0%) が来室した。

⑤学生集団健康教育

2017年度は、個別に健康相談・保健指導を実施すると共に、7つのテーマで学生集団健康教育に取り組んだ。保健管理センター内では「禁煙」「睡眠」「熱中症」に関するセミナーを実施し、また、外部の講師を招いて「飲酒」「海外渡航時の健康管理」「エイズ予防」に関するセミナーを実施した。実施後のアンケート調査では、“日常生活に役立てることができる” “このような試みは今後もぜひ行ってほしい” など、概ね好評であった。学生の自主的な参加によるセミナーでは昨年度と同様に少数にとどまったが、屋外でのアンケート調査や教員を通じてセミナーを告知するなど、他教職員の協力を得て、一

定数の参加を募ることができた。健康教育は、健康の為の知識や実践力を習得し、自己管理能力を高めることに繋がり、新たな情報を得る機会である。健康に関する相談窓口として保健管理センターが学生の選択肢の1つとなるよう、保健管理センターの機能や役割を積極的にアナウンスしていく事が重要である。

＊保健管理センター内で実施＊

テーマ	①タバコをやめようかなと思っている方へ
日時	2017年5月31日(水)～2017年6月6日(火)
参加者	喫煙所で喫煙している学生と教職員
喫煙所にポスター掲示	
内容	1.依存度チェック 2.禁煙方法 ＊希望者には非常勤呼吸器内科医の禁煙指導案内(希望者なし)

テーマ	②睡眠セミナー
日時	2017年7月12日(水) 15:00～16:00 2017年11月22日(水) 15:00～16:00
参加者	7/12 学生11名 11/22 学生8名
講師	非常勤精神科医
内容	1.睡眠時間の国際比較 2.不眠症とは 3.睡眠障害の種類 4.睡眠不足が及ぼす身体的・精神的影響 5.睡眠時間と生体リズム 6.睡眠に影響を及ぼす因子

テーマ	③熱中症セミナー
日時	2017年7月19日(水) 15:00～16:00 2017年7月20日(木) 15:00～16:00 2017年7月21日(金) 15:00～16:00
参加者	7/19 学生2名 7/20 学生・教職員含めて2名 7/21 学生1名
講師	保健師
内容	1.熱中症とは 2.体温調節の仕組み 3.脱水症と熱中症(症状の分類と身体の変化) 4.応急処置 (熱中症が疑われるときのフローシート) 5.効果的なクーリングの方法 6.介抱時の注意点 7.熱中症に影響を与える環境とリスク因子 8.予防対策方法 9.スポーツドリンクと経口補水液、それぞれの特徴と違い(試飲あり)

テーマ	④世界エイズデー 「UPDATE!エイズのイメージを変えよう」
日時	2017年11月27日(月) 12:30～14:30 2017年12月1日(金) 12:30～15:05
参加者	11/27 学生・教職員・外部生254名 12/1 学生・教職員・外部生443名 計697名
講師	保健師、大学職員、外部スタッフ
内容	1.エイズのイメージを変えよう 2.日本のHIV流行の状況 3.世界の状況 4.世界エイズデー 5.HIVとは 6.エイズとは 7.HIVの感染経路 8.HIV検査 9.梅毒が流行しています ※アンケート回答者へ Condom と上記内容のパンフレットを配布

＊外部講師を招いて実施＊

テーマ	⑤エイズピア健康セミナー
日時	2017年10月4日(水) 16:00～17:00
参加者	学生8名(うち1名短大生)
講師	東京都エイズピアエデュケーター4名
内容	1.エイズに関する基礎知識 2.予防方法 3.自分も大切、相手も大切 4.ともに生きる

テーマ	⑥適正飲酒啓発セミナー
日時	2017年10月19日(木) 13:30～14:30
参加者	学生32名
講師	サッポロビール株式会社アルコール関連問題担当者
内容	1.お酒の基礎知識 2.酔いのメカニズム、危険症状と救急対応 3.お酒の席でのマナー

テーマ	⑦海外留学医療特別セミナー
日時	2017年12月13日(水) 12:35~13:10
参加者	大学生・女子短期大学生・教職員含めて 計67名
講師	千駄ヶ谷インターナショナルクリニック院長 (日本旅行医学会・理事)
内容	1. 旅行医学とは 2. 最新の海外での事故・死亡統計 3. 旅行に持っていくべき3つの薬 4. 海外で役立つ安全カルテ 5. 留学生のリスク 6. うつ病 7. 性感染症 8. 留学と予防接種 9. 米国留学と結核 10. 東南アジア

⑥感染症罹患報告者数

疾患名 \ 月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
結核	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
インフルエンザ	22	9	0	0	0	5	4	8	26	142	1	0	217
流行性耳下腺炎	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
流行性角結膜炎	0	0	1	0	0	0	2	0	0	0	0	0	3
感染性胃腸炎	0	0	0	1	0	0	1	2	1	1	0	0	6
溶連菌感染症	1	0	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	3
水痘	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
麻疹	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1
パラチフス	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
デング熱	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1
伝染性単核球症	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1
咽頭結膜熱	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	2
A型肝炎	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1
感染症名確定診断できず	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
合計	24	11	3	1	0	7	8	14	27	143	1	0	239

感染症罹患報告者総数は239名であり、インフルエンザの報告が全体の約9割を占めている。今年度は、インフルエンザの記録的な大流行に伴い、昨年度の192名より25名多い217名の罹患報告があった。インフルエンザの流行時期と定期試験期間が重なり、1月のインフルエンザ罹患報告者数も併せて増加した。また、輸入感染症とみられるパラチフス、デング熱、A型肝炎に罹患した学生3名が確認された。保健管理センターとしても、海外渡航への注意喚起や知識を与える場を今後も提供していくことが必要である。

⑦学生の休学・退学者数

休学・退学事由		青山キャンパス	相模原キャンパス	合計
病気療養による 休学者数	精神疾患	45	6	51
	内科疾患・その他疾患	4	0	4
	合計	49	6	55
病気療養による 退学者数	精神疾患	13	4	17
	内科疾患・その他	1	0	1
	合計	14	4	18
死亡退学者数		1	0	1

2017年度の病気療養による休学者数は例年と大きな変化はない。病気療養による休学者のうち、うつ病や不安障害、気分障害、適応障害等の精神的問題で病気療養している者が92.8%を占めており、そのうち約40%の者が、1年以上休学している現状である。一方、精神的問題を抱えている学生が退学に至るケースでは、1年の休学期間を経て退学するケースが多くなっている。

精神的問題を抱えた学生は学業継続が困難になる場合も多く、休学に至る前に保健管理センターとしても何らかの介入ができる事が望ましい。精神的な問題を抱えた学生が気軽に相談に訪れる事ができる場として、今後も保健管理センターの認識を高めていく必要がある。

3. 教職員定期健康診断

①教職員定期健康診断 項目別受診率（キャンパス別）

青山キャンパス

(2017年11月4日現在)

所 属	総対象者数	受診者数	人間ドック受診者数	受診率 %	項目別受診者数											
					レントゲン	心電図	血圧	尿	血液	視力	聴力	計測	腹囲	免疫学的便潜血反応	肝炎ウイルス検査	生活調査
大学本務教員	401	243	62	76.1	237	214	243	243	223	243	192	243	214	196	20	243
大学兼務教員	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
本務職員(本部・大学)	362	285	58	94.8	278	160	285	276	252	285	127	285	155	147	19	285
兼務職員	88	74	8	93.2	70	50	73	73	57	73	47	73	49	43	21	73
幼稚園・本務兼務教職員	13	12	1	100.0	12	6	12	11	10	12	3	12	6	5	2	12
合計	864	614	129	86.0	597	430	613	603	542	613	369	613	424	391	62	613
有所見者数					32	38	72	18	387	111	25	194	139	17	6	

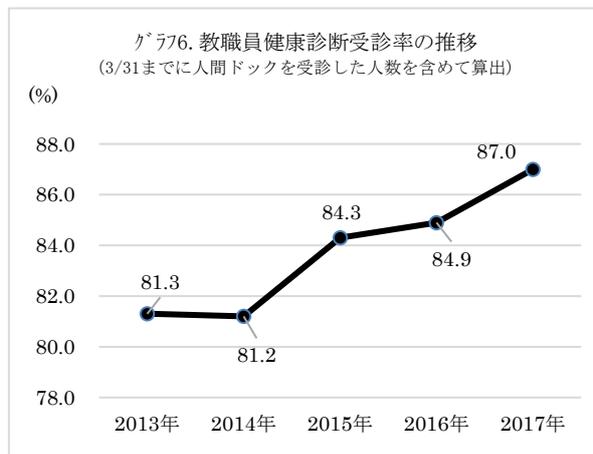
*人間ドック受診者数は2018年4月30日現在3月31日までに受診の人間ドック結果を提出した数でカウント

相模原キャンパス

(2017年11月4日現在)

所 属	総対象者数	受診者数	人間ドック受診者数	受診率 %	項目別受診者数											
					レントゲン	心電図	血圧	尿	血液	視力	聴力	計測	腹囲	免疫学的便潜血反応	肝炎ウイルス検査	生活調査
大学本務教員	207	156	21	85.5	153	108	156	154	116	156	156	156	104	88	12	156
大学兼務教員	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
本務職員(本部・大学)	81	67	14	100.0	65	47	67	67	57	67	67	67	45	39	2	67
兼務職員	58	51	1	89.7	46	42	51	50	47	51	51	51	41	37	12	51
合計	346	274	36	89.6	264	197	274	271	220	274	274	274	190	164	26	274
有所見者数					18	29	52	10	137	18	20	92	70	9	2	

*人間ドック受診者数は2018年4月30日現在3月31日までに受診の人間ドック結果を提出した数でカウント



2015年度より、保健管理センター、安全衛生委員会、人事部で、健康診断未受診者に対する働きかけを強化してきた効果が現れ、受診率は上昇傾向にある。大学保健管理センターで実施している健康診断の受診率は69.5～73.5%で推移しているが、毎年150名前後が人間ドック等の外部機関を利用しており、教職員健康診断の代替えとしての人間ドック結果の提出も徐々に徹底されてきている。しかし複数回の連絡にも関わらず、人間ドックの結果を提出しない者や、毎回受診奨励をしているにも関わらず、健康診断未受診者も一定数おり、今後も引続き、受診率向上への働きかけは必要である。

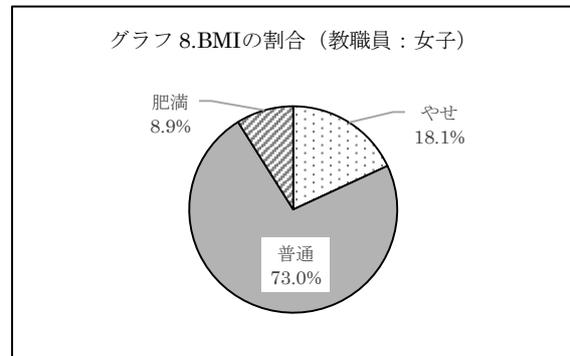
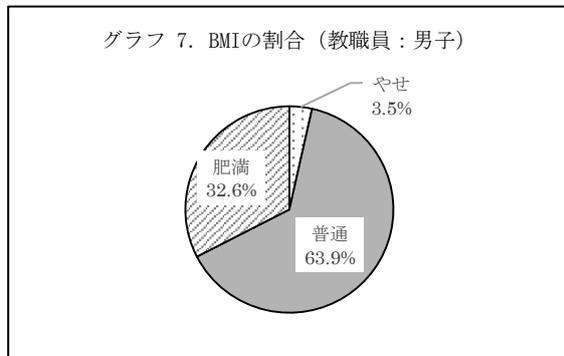
②教職員定期健康診断 有所見者の経過 (全キャンパス)

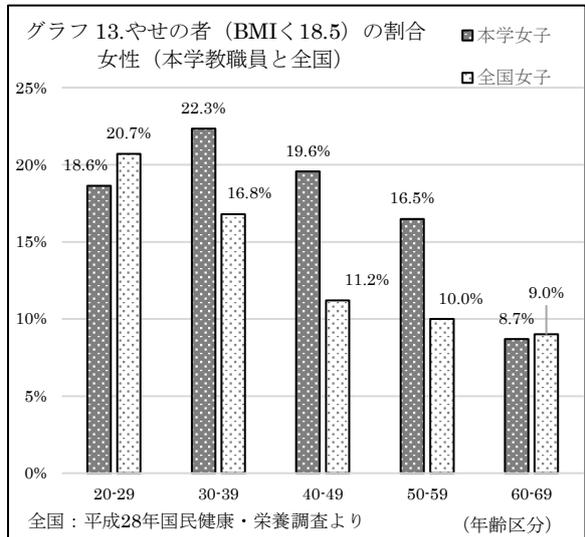
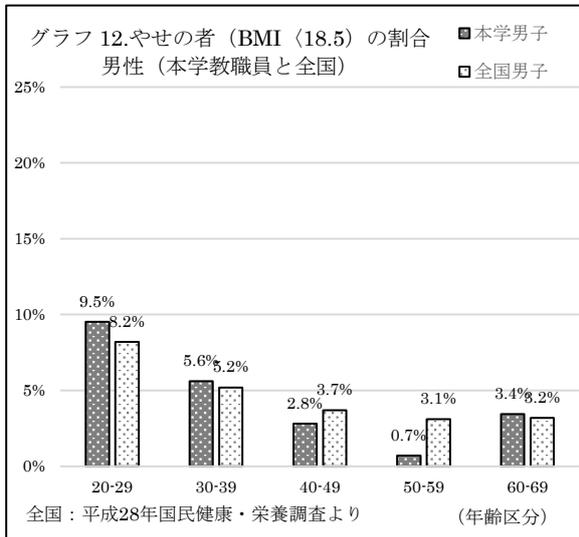
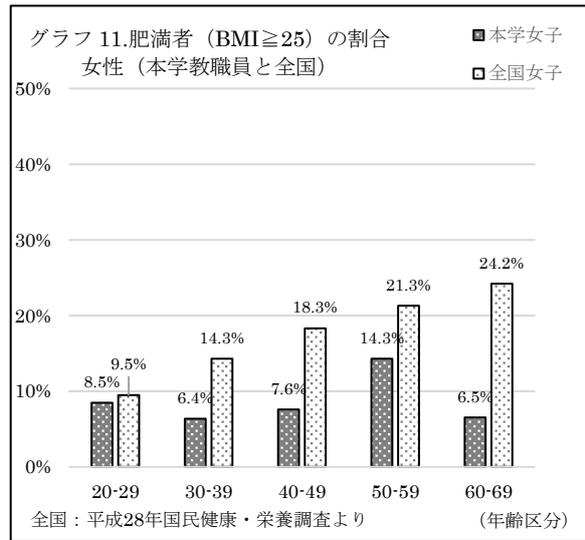
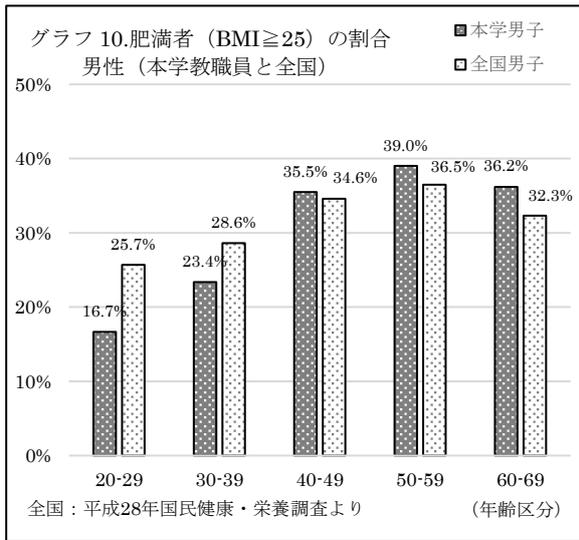
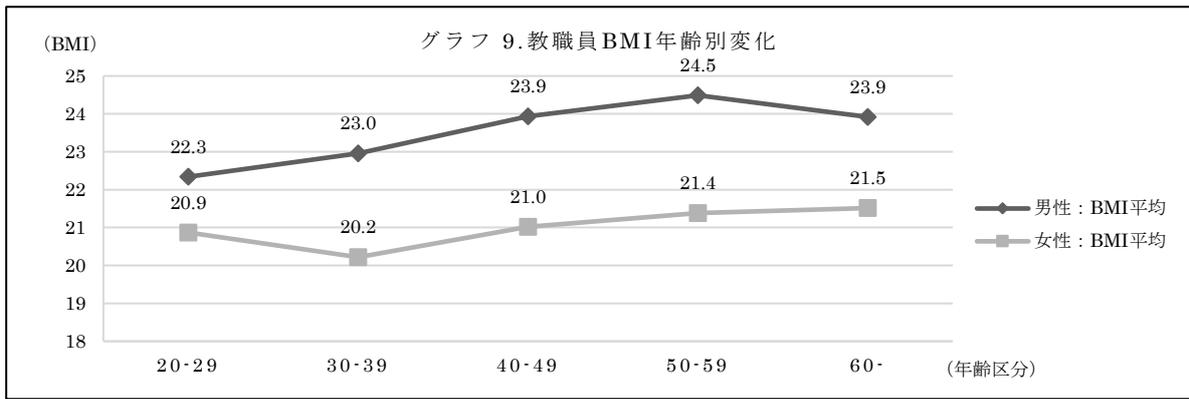
健診項目	有所見者数	有所見率 (%)	有所見者の経過			
			問題なし	要経過観察	要治療又は治療中	未来室
胸部レントゲン	50	5.8		45	結節状陰影(1) 後縦隔腫瘍(1) COPD(1) 心肥大(1) ペースメーカー(1)	
心電図	65	10.4		59	完全・不完全右脚ブロック(1) 期外収縮(1) ペースメーカー(1) 心筋異状疑い(1) 波形異状(1)	未来室(1)
血圧	109	12.3		81	高血圧(19)	受診結果未報告(4) 未来室(5)
尿検査	28	3.2	7	尿潜血(1) 尿糖(1) 腎結石(1)	糖尿病(11) IgA腎症(1) 膀胱炎(1)	受診結果未報告(3) 未来室(2)
血液検査	524	68.8	6	脂質異常症(253) 肝機能障害(131) 耐糖能異常(226) 尿酸値異常(26) 貧血(54) 腎機能異常(31) 白血球数異常(25)	脂質異常症(29) 糖尿病(10) IgA腎症(2) 腎不全(1) 肝機能障害(4) 高血圧(4) 貧血(7) その他(3)	受診結果未報告(16) 未来室(15)
肝炎ウイルス検査	8	9.1		HBs抗体プラス(8)		
免疫学的便潜血反応	26	4.7	4	内痔核(1) 経過観察(2)	内痔核(1) ポリープ(5) 裂肛(1)	受診結果未報告(9) 未来室(3)

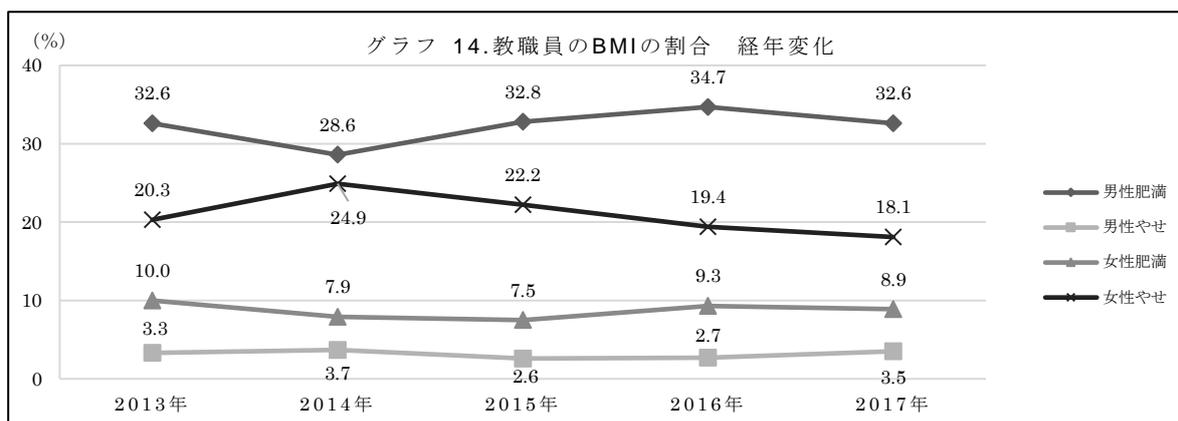
教職員健康診断における有所見者数はのべ810名であった。項目別有所見率でみると、脂質異常症や耐糖能異常、肝機能障害等、血液検査の有所見率が最も高く68.8%となっている。昨年よりやや低下しているものの、引き続き医師面接や保健指導、健康セミナー等を通じて、早期からの生活習慣病の改善や予防に努めていく必要がある。

③教職員の身体状況 (肥満とやせ)

本学：教職員健康診断受診者 男性513人、女性382人より算出







教職員の体格指数 (BMI) の割合は、男性の肥満 32.6%、やせ 3.5%、女性の肥満 8.9%、やせ 18.1%であった。前年度と比較して男性の肥満は 2.1%、女性の肥満は 0.4%それぞれ減少し、男性のやせは 0.8%増加、女性のやせは 1.3%減少した。例年、教職員男性の肥満は 30 代までは全国平均を下回るが、40 歳以上で全国平均を上回ってくる。今年度も同様の傾向が見られた。教職員女性の肥満は全年代で全国平均を下回っているが、やせは 30 代以降、特に前年度同様 40-50 代は全国平均を大きく上回っている。肥満とやせの現状において、職場環境や生活習慣で改善できる点があるか検討し、保健指導や集団での健康教育を通して生活習慣改善に向けたアプローチを継続していきたい。

④保健指導と集団健康教育

【保健指導】

青山キャンパスでは、通常健康診断事後措置 (医師面談・受診勧奨) と共に、教職員に対して保健指導を行っている。2017 年度の指導対象者は 149 名であり、その内 45 名 (30.2%) に対して個別に保健指導を実施した。例年同様、保健指導の案内に応じた者の大半は職員である。教職員 (特に教員) の健診受診率、保健指導実施率の上昇に対する取り組みのあり方を引き続き検討し、強化していく必要がある。

【集団健康教育】

テーマ	①血糖値のしくみ
日時	2017年11月24日(金) 13:30~14:15 2017年12月8日(金) 13:30~14:15
参加者	11/24 教職員 8名・12/8 教職員 4名
講師	循環器内科医 (非常勤講師)
内容	1.糖尿病人口の割合と歴史 2.糖尿病の位置づけと合併症 3.インスリンとインスリン抵抗性 4.糖尿病の種類と耐糖能異常 5.インスリンのための働き方改革

テーマ	②昼食セミナー～生活習慣病が気になる方へ
日時	2017年11月24日(金) 11:30~12:30 限定メニュー70食販売
参加者	職員 21名
講師	保健師・栄養士
内容	1.脂質異常症とは 2.限定メニューの紹介 3.適正エネルギー摂取量と食事 4.コレステロール・中性脂肪改善に役立つ食材を知ろう

2017 年度の集団健康教育は、「血糖値のしくみ」と「食事」の 2 つのテーマで実施した。血液検査を受けた者のうち、耐糖能異常と判定された有所見者は 29.7%であり、脂質異常に次いで多い。「血糖値のしくみ」は、例年同様教職員健診後に 2 回に分けて開催し、「血糖値とは」「インスリンの役割」等、糖尿病に関連する身体の機能に関する説明を中心とした内容構成とした。血糖検査の目的とそれに関連する身体のしくみを理解でき、自己の生活習慣を振り返る意識付けになったと好評であった。「昼食セミナー～生活習慣病が気になる方へ」は、昼食休憩の時間帯に学生食堂で開催し、コレステロール・中性脂肪改善に役立つ食材を多く使用したメニューを提供してのランチョンセミナー形式とした (実費参加者負担)。セミナーテーマに沿ったメニューを食べながら講義を聴くことで理解が深まったとの評価を得た。また、月 2 回提供している健康管理センターと学食のヘルシー定食のコラボメニューの提供も継続を希望する声は多く、今後もメニューの内容や形態を工

夫しながら、継続を目指したい。

また、2017年度は、教職員健康診断時に健康ブースを設け、集団健診会場の待ち時間を利用した健康教育活動として、DVD（学内で起こりうる事故発生時の救急対応、VDT 症候群予防）を放映すると共に、乳がんと乳がん予防について、ポスターや動画を展示し、自己触診モデルを設置した。多数の者が目にする機会として、健診会場を利用した健康教育活動も継続的なものにしていきたいと考えている。

⑤教職員の休職・復職者数(対象:学院全体)

休職・復職事由	青山キャンパス			相模原キャンパス		
	休職	復職	再休職	休職	復職	再休職
精神的疾患	4	0	0	3	0	0
身体的疾患	5	0	0	0	0	0
合計	9	0	0	3	0	0
全教職員に対する 休職者の割合(%)	0.9	0	0	0.9	0	0

※全職員の母数は、セカンダリー専任職員も含む

上記は療養就業規則上の休職者数である。2013年度より整備化された復職支援体制が軌道にのり、体調不良者対応では職場や人事など他職種との連携が取れるようになったため、早期に産業保健スタッフの介入が可能となった。今年度の精神的疾患では新規で長期休職に至るケースは一件のみであった。今後も、関係部署との連携を取りあい、早期介入、予防に向けて対策をしていきたい。

また、今年度は身体的疾患による休職者が増加傾向であった。特にがんなどの反復・継続して治療が必要な疾患に関しては、今後復職と治療の両立支援に向けて関係部署との連携が必要と考える。さらに予防・早期発見に向けた啓蒙活動にも取り組んでいきたい。

⑥長時間労働者への産業医による面接

過重労働による健康障害を防止するため、安全衛生法に従って、長時間労働者（事務職員）に対して産業医による面接指導を実施している。

【面接指導対象者、及び指導項目】

残業時間（月）	疲労度チェック※1	産業医面接
法定外 80 時間越え	○	必須
法定外 60 時間越え	○	考慮※2

※1：対象者に対しては産業保健スタッフよりメールにて回答方法を案内。

※2：本人の面談希望、疲労度チェック（厚生労働省推奨）の結果、健康診断などにより産業医が実施について判断。

面接指導対象者数

対象者・指導項目	月													合計
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月		
残業時間法定外 80時間超え対象者数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	8	9
残業時間法定外 60時間超え対象者数	5	1	0	1	0	1	1	2	1	6	3	10	31	
疲労度チェック回答数	5	1	0	1	0	1	1	2	1	6	4	18	40	
医師面談数	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	10	12	

前年まで、学院全体として、法定外の残業時間は減少傾向にあったが、2017年度は前年度の25件から40件と増加した。繁忙期に通常業務以外の業務が重なった事や、欠員といった状況下で、残業時間が60時間超えの法定外となった者が3月に特化して多かった。

2017年度の上記対象者において、産業医面接は12名で、産業医面接の結果就業上配慮を要するケースは5名であった。就業上配慮を要するケースでは、長時間労働により身体的不調を自覚して健康に不安を感じていたため、産業医より業務量、残業時間が過多にならないよう意見書が出され、管理監督者に改善を求めている。保健管理センターとしては、今後も長時間労働による、脳・心臓疾患やメンタルヘルス不調者の早期発見に努め、早期対処を図りたい。

⑦ストレスチェック受検率に関する報告(対象:学院全体)

2014年の労働安全衛生法の改正により、事業者に対し義務付けられたストレスチェックが2016年度より実施され、今年度2回目となるストレスチェックを実施した。

【実施期間】 2017年11月13日～12月1日

【対象】 定期健康診断対象者で2017年10月1日時点在籍の教職員
(幼稚園・初等部・中等部・高等部の教職員を含む)

【実施方法】 ティーペック(株) ストレスチェック web システムを採用(若干名、ペーパー受検者あり)

【周知方法】 ストレスチェック実施説明会、教職員ポータル、学部長会、教授会、事務連絡会等

全体受検率

年度	対象人数	受検人数	受検率 (%)
2017年度	1527	1040	68.1
2016年度	1503	914	60.8

今年度の受検率は学院全体で68.1%であった。昨年と比較すると、幼稚園・初等部・中等部・高等部の各教員の受検率向上に伴い、全体受検率が昨年度から7.3%向上した。受検案内に関する周知や勧奨がその要因であると考えられる。

高ストレス判定者の抽出に関しては、昨年同様、厚生労働省の定めた判定基準を採用し実施した。集団ごとの集計・分析に関しては、学院全体としてのストレス状態は平均的、もしくはやや低い状態との結果であった。所属先によっては全国平均を上回る部署があり、職場環境改善に向けての介入を検討していく必要がある。今後も関連部署と連携をとりながらメンタルヘルスのフォロー体制を強化し、職場環境に対するストレス軽減に努めていきたい。

4. その他の法定健康診断

①特殊健康診断（相模原キャンパス）

1) 特殊健康診断実施者数

(2018年3月31日現在)

項目	内訳	対象者数 (人)			受診者数 (人)			受診率 (%)		
		教職員	学生	合計	教職員	学生	合計	教職員	学生	合計
春期特殊健康診断		34	231	265	34	231	265	100.0	100.0	100.0
内訳	電離放射線	31	190	221	31	190	221	100.0	100.0	100.0
	有機溶剤	6	91	97	6	91	97	100.0	100.0	100.0
	特定化学物質	14	91	105	14	91	105	100.0	100.0	100.0
秋期特殊健康診断		37	91	128	37	91	128	100.0	100.0	100.0
内訳	電離放射線	34	-	34	34	-	34	100.0	100.0	100.0
	有機溶剤	6	91	97	6	91	97	100.0	100.0	100.0
	特定化学物質	14	91	105	14	91	105	100.0	100.0	100.0

※四捨五入

2) 電離放射線健康診断結果

(2018年3月31日現在)

項目	内訳	実施者数 (人)			有所見者数 (人)			有所見率 (%)			再検査・精査 (人)		経過観察 (人)		備考
		教職員	学生	合計	教職員	学生	合計	教職員	学生	合計	教職員	学生	教職員	学生	
春期	電離放射線使用による健康障害	31	190	221	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	白血球数・白血球百分率検査	31	190	221	0	7	7	0	3.7	3.2	0	1	0	0	WBC再検1名 結果0. B. 0
	貧血検査	31	190	221	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	水晶体・皮膚所見	31	190	221	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	自覚症状調査	31	190	221	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
秋期	電離放射線使用による健康障害	34	-	34	0	-	0	0.0	--	0.0	0	-	0	-	
	白血球数・白血球百分率検査	34	-	34	1	-	1	2.9	-	2.9	0	-	0	-	
	貧血検査	34	-	34	3	-	3	8.8	-	8.8	0	-	1	-	妊娠性貧血
	水晶体・皮膚所見	34	-	34	0	-	0	0.0	-	0.0	0	-	0	-	
	自覚症状調査	34	-	34	1	-	1	2.9	-	2.9	0	-	0	-	

※四捨五入

3) 有機溶剤健康診断結果 ※学生は特定化学物質健康診断を兼ねてカウント

(2018年3月31日現在)

項目	内訳	実施者数 (人)			有所見者数 (人)			有所見率 (%)			再検査・精査 (人)		経過観察 (人)		備考
		教職員	学生	合計	教職員	学生	合計	教職員	学生	合計	教職員	学生	教職員	学生	
春期	有機溶剤による健康障害	6	91	97	0	0	0	0.0	0.0	0.0	0	0	0	0	
	蛋白尿	6	91	97	0	0	0	0.0	0.0	0.0	0	0	0	0	
	貧血検査	-	91	91	-	3	3	-	3.3	3.3	-	0	-	0	
	肝機能検査	-	91	91	-	2	2	-	2.2	2.2	-	0	-	0	
	尿代謝物検査	5	-	5	0	-	0	0.0	-	0.0	0	-	0	-	
	自覚症状検査	6	91	97	2	31	33	33.3	34.1	34.0	0	1	0	0	
秋期	有機溶剤による健康障害	6	91	97	0	0	0	0.0	0.0	0.0	0	0	0	0	
	蛋白尿	6	91	97	0	1	1	0.0	1.1	1.0	0	1	0	0	
	貧血検査	-	91	91	-	2	2	-	2.2	2.2	0	0	0	0	貧血パンフレット 来年度肝炎肝機能検査 1名追加
	肝機能検査	-	91	91	-	7	7	-	7.7	7.7	0	0	0	1	
	尿代謝物検査	5	-	5	0	-	0	0.0	-	0.0	0	-	0	-	
	自覚症状調査	6	91	97	0	16	16	0.0	17.6	16.5	0	0	0	0	

4) 特定化学物質健康診断結果

(2018年3月31日現在)

項目	内訳	実施者数	有所見者数	有所見率	再検査・精査	経過観察	
		(人)	(人)	(%)	(人)	(人)	
		教職員	教職員	教職員	教職員	教職員	
春 期	特定化学物質による健康障害	14	0	0.0	0	0	
	自覚症状調査	14	0	0.0	0	0	
	尿蛋白・尿潜血	10	0	0.0	0	0	
	胸部直接撮影	2	0	0.0	0	0	
	尿ウロビリノーゲン	2	0	0.0	0	0	
	血清インジウム	2	0	0.0	0	0	
	尿中マンデル酸	1	0	0.0	0	0	
	KL-6	2	0	0.0	0	0	
	貧血検査・白血球数	3	0	0.0	0	0	
	全血比重	3	0	0.0	0	0	
	握力	3	0	0.0	0	0	
	鼻・歯の所見	4	0	0.0	0	0	
	皮膚所見	11	0	0.0	0	0	
	肝機能検査	10	1	10.0	0	0	
	延べ人数合計	81	1	-	0	0	
秋 期	特定化学物質による健康障害	14	0	0.0	0	0	
	自覚症状調査	14	0	0.0	0	0	
	尿蛋白・尿潜血	10	0	0.0	0	0	
	胸部直接撮影	2	0	0.0	0	0	
	尿ウロビリノーゲン	2	0	0.0	0	0	
	血清インジウム	2	0	0.0	0	0	
	尿中マンデル酸	1	0	0.0	0	0	
	KL-6	2	0	0.0	0	0	
	貧血検査・白血球数	3	1	33.3	0	0	
	全血比重	3	1	33.3	0	0	
	握力	3	0	0.0	0	0	
	鼻・歯の所見	4	0	0.0	0	0	
	皮膚所見	1	0	0.0	0	0	
	肝機能検査	10	2	20.0	0	0	
	延べ人数合計	71	4	-	0	0	

学生の有機溶剤・特定化学物質健康診断の対象者は保健管理センターが各研究室へ問い合わせし名簿を作成していたが、今年度より環境安全センターが試薬システムから対象者を抽出したことにより対象者は減少した。有所見者は数名いるが、今年度も薬品による影響ではなく経過観察となった。

②雇入時の健康診断

1) 雇入れ時健康診断受診者数 *外部医療機関にて実施*

(2018年3月31日現在)

所属	月												合計
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
本部	20		1										21
大学	80	2	3	3	10	8	3	2	4	1	1	1	118
女子短期大学	16												16
高等部	5										1		6
中等部	5					1							6
初等部	1					3	1						5
幼稚園	3												3
合計	130	2	4	3	10	12	4	2	4	1	2	1	175

2) 雇入時の健康診断有所見者の経過

検査項目	有所見者数	再検査	経過観察	病院受診	病院受診結果
胸部レントゲン	22		20	2	異常なし (2)
心電図	13		12 (1名治療中)	1	経過観察 (1)
血圧	7		6 (1名治療中)	1	治療開始 (1)
尿検査	10	4 (異常なし)	5 (1名治療中)	1	異常なし (1)
血液検査	76		71 (9名治療中)	5	未受診 (3) 異常なし (2)

雇入時健康診断実施者 175 名中、有所見者は実人数で 101 名と約半数以上に及ぶ。有所見で多いのは、脂質異常症 51 名、糖代謝異常 28 名、肝機能障害 12 名で、その他に貧血 12 名、高血圧 7 名を認めた。入職時にすでに要医療の状況の者がおり、入職前の受診勧奨をどうするかといった問題点も浮き出た。肥満者は 28 名、やせの者は 26 名であった。今年度の雇入時健康診断実施者の平均年齢は 37.7 歳であり、雇入時から既に生活習慣病関連項目の有所見率は高く、雇入後の健康管理を要する状況である。教職員健診後の保健指導対象者として当年度入職者も含めることで、入職直後からの健康管理を行っていきたい。

③特定業務従事者健康診断

対象者は 1 名のみで、受診済みである。

5. 健康診断証明書発行業務

①青山キャンパス健康診断証明書発行枚数

(2018年3月31日現在)

内訳		月													合計
		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月		
自動発行内訳	1年生	人数	16	28	16	16	2	5	5	5	1	11	2	2	109
		枚数	16	28	16	16	2	5	5	5	1	11	2	2	109
	2年生	人数	13	13	18	20	1	3	5	4	3	10	4	3	97
		枚数	13	13	18	20	1	3	5	4	3	10	4	3	97
	3年生	人数	12	22	27	28	25	66	30	15	13	13	13	67	331
		枚数	12	22	28	28	25	69	30	15	13	13	15	78	348
	4年生	人数	313	1060	657	362	122	209	74	41	23	26	28	34	2949
		枚数	414	1276	749	400	147	224	84	46	23	27	33	36	3459
	大学院生	人数	7	20	16	9	4	4	4	2	1	2	2	6	77
		枚数	7	26	17	12	4	5	5	2	3	2	4	6	93
	専門職大学院生	人数	4	14	8	8	3	2	2	1	0	2	1	4	49
		枚数	4	17	9	11	3	3	2	1	0	2	1	4	57
	科目等履修生	人数	0	1	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	3
		枚数	0	2	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	4
窓口発行 <small>含英文証明書</small>	人数	0	10	7	2	3	6	0	3	2	1	0	10	44	
	枚数	0	18	7	2	3	6	0	3	2	4	0	11	56	
合計	人数	365	1168	749	445	160	295	121	72	43	65	50	126	3659	
	枚数	466	1402	844	489	185	315	132	77	45	69	59	140	4223	

②相模原キャンパス健康診断証明書発行枚数

(2018年3月31日現在)

内訳		月													合計
		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月		
自動発行内訳	1年生	人数	1	7	5	4	3	0	1	3	0	1	2	0	27
		枚数	1	7	5	4	3	0	1	3	0	1	2	0	27
	2年生	人数	5	4	11	7	0	0	0	3	0	1	0	0	31
		枚数	5	4	11	7	0	0	0	3	0	1	0	0	31
	3年生	人数	1	4	5	5	9	5	3	10	7	5	4	35	93
		枚数	1	4	5	5	9	5	3	10	7	5	4	42	100
	4年生	人数	91	240	89	36	20	35	10	5	7	0	5	12	550
		枚数	124	303	101	38	20	42	10	5	11	0	5	13	672
	大学院生	人数	44	109	45	15	4	10	3	1	3	1	0	18	253
		枚数	53	130	48	19	5	10	3	1	4	1	0	19	293
	科目等履修生	人数	0	1	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	3
		枚数	0	1	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	3
	窓口発行 <small>含英文証明書</small>	人数	0	1	1	0	0	1	0	2	0	0	0	0	5
		枚数	0	1	1	0	0	1	0	2	0	0	0	0	5
合計	人数	142	366	156	68	37	51	17	24	17	8	11	65	962	
	枚数	184	450	171	74	38	58	17	24	22	8	11	74	1131	

健康診断証明書発行枚数の減少傾向は続いている。2017年度の就職率は前年とほとんど変化はなく、関連性は見受けられない。

6. 救急処置・検査等保健管理センター利用状況

①青山キャンパス

(学生・教職員別利用者数)

(2018年3月31日現在)

所属		月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
学生	昼間部	男	274	218	137	94	18	44	59	65	76	43	20	14	1062
		女	1186	311	186	171	24	67	114	143	152	65	17	26	2462
	夜間部	男	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		女	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
教職員	男	30	11	27	22	9	25	29	51	35	19	19	24	301	
	女	18	17	29	19	9	46	90	39	25	20	20	19	351	
その他			5	5	17	12	19	6	4	14	12	8	51	9	162
合計			1513	562	396	318	79	188	296	312	300	155	127	92	4338

(検査・処置等利用内容別件数)

検査処置項目		月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
検査	血圧		64	51	51	48	11	24	26	28	14	6	11	16	350
	検尿		922	40	9	5	4	7	40	9	0	1	1	1	1039
	検便		3	4	4	29	13	18	23	6	0	0	0	0	100
	血液		14	2	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1	18
	視力		87	3	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	91
	心電図		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	計測		87	71	101	93	15	45	74	65	51	34	46	18	700
	聴力		0	3	0	1	0	0	0	0	2	0	0	0	6
	自動血圧計		15	73	85	57	12	24	22	17	9	6	3	3	326
	体脂肪計		0	14	28	5	0	0	1	0	8	3	0	0	59
処置	投薬		26	25	43	37	4	20	21	28	20	16	24	8	272
	処置		45	74	52	53	18	37	48	70	37	37	27	18	516
	ベッド休養		79	102	129	130	16	52	77	89	56	22	43	16	811
	医師診療		73	29	39	26	8	17	29	33	41	36	47	20	398
	病院紹介		36	41	34	28	5	11	29	32	14	11	3	5	249
	救急車		1	1	2	3	0	3	0	6	0	0	0	0	16
	病院搬送		1	0	0	3	0	1	0	1	1	1	0	0	8
	保健指導		94	122	52	13	1	3	3	30	26	11	1	5	361
問診調査・相談		101	179	70	32	18	42	64	62	117	35	38	27	785	
合計			1648	834	699	565	125	304	457	476	396	219	244	138	6105

(症状・疾患別利用者数)

症状・疾患	月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
胃腸症状		18	21	26	26	1	13	11	10	9	3	14	6	158
感冒		34	31	37	29	3	23	45	37	38	29	15	4	325
頭痛		20	19	30	33	3	18	26	24	21	7	9	0	210
気分不快		13	22	24	37	7	5	15	17	8	1	14	4	167
貧血		3	8	9	1	3	2	3	7	1	1	1	3	42
切傷		3	5	1	2	0	2	3	4	3	3	4	2	32
外傷		18	25	15	22	7	9	14	21	7	6	7	4	155
化膿		2	2	0	2	0	0	0	0	0	0	2	0	8
捻挫・打撲		9	12	19	11	1	8	7	14	9	3	3	3	99
骨折・脱臼		0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	2
腰・筋肉痛		5	5	1	2	1	2	2	4	2	3	2	1	30
火傷		1	3	5	1	1	2	2	3	3	3	0	0	24
皮膚疾患		2	3	4	2	1	1	1	2	0	0	1	1	18
昆虫刺傷		2	1	1	4	3	1	1	3	0	0	0	0	16
眼疾患		0	3	1	1	0	1	4	2	1	3	0	1	17
歯疾患		1	1	0	0	0	0	1	0	1	1	0	1	6
耳鼻科疾患		2	1	2	0	2	3	4	3	1	0	0	1	19
生理痛		12	19	17	16	4	12	8	19	7	9	1	4	128
泌尿器疾患		0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	2
口腔疾患		0	1	0	0	0	0	1	2	1	0	0	0	5
精神疾患		39	52	79	62	6	23	36	27	33	22	18	9	406
その他の疼痛		0	7	6	1	0	1	5	3	4	0	0	0	27
その他		18	17	30	21	8	19	20	12	30	18	5	13	211
合計		202	259	307	274	51	145	210	215	179	112	96	57	2107

②相模原キャンパス

(学生・教職員別利用者数)

(2018年3月31日現在)

所属		月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
学生	昼間部	男	96	32	32	27	5	11	25	36	30	13	6	5	318
		女	150	45	24	20	1	13	23	23	18	8	2	1	328
	夜間部	男	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		女	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
教職員	男	4	2	10	8	2	7	24	18	11	15	5	12	118	
	女	4	5	7	7	1	7	36	19	8	5	6	6	111	
その他			1	2	1	1	1	1	2	3	1	0	1	3	17
合計			255	86	74	63	10	39	110	99	68	41	20	27	892

(検査・処置等利用内容別件数)

検査処置項目		月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
検査	血圧		1	2	1	0	0	0	1	0	1	1	0	2	9
	検尿		134	18	1	1	0	2	16	3	1	0	0	0	176
	検便		0	0	1	8	1	9	19	1	0	1	0	0	40
	血液		3	0	3	0	0	0	3	0	0	3	0	3	15
	視力		13	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	14
	心電図		0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1
	計測		3	11	14	6	1	5	4	8	9	15	5	4	85
	聴力		0	1	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	3
	自動血圧計		20	10	22	12	6	5	15	12	13	56	6	21	198
	体脂肪計		0	0	5	0	3	17	2	2	0	0	1	2	32
処置	投薬		7	9	13	12	1	3	15	13	6	12	4	1	96
	処置		18	11	17	19	1	8	19	16	10	8	4	3	134
	ベッド休養		10	15	15	11	1	5	8	9	3	1	2	3	83
	医師診療		46	7	13	7	1	2	19	10	12	7	5	8	137
	病院紹介		8	2	3	1	1	1	8	9	3	4	2	1	43
	救急車		0	0	0	1	0	0	1	0	0	0	0	0	2
	病院搬送		0	0	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	2
	保健指導		11	4	0	0	0	0	1	5	0	1	0	2	24
	問診調査・相談		20	23	18	7	3	8	15	43	32	6	5	8	188
	合計		294	114	127	85	19	65	148	131	92	115	34	58	1282

(症状・疾患別利用者数)

症状・疾患	月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
胃腸症状		0	4	5	6	1	2	2	2	2	0	2	0	26
感冒		3	4	8	6	1	2	10	14	7	15	2	2	74
頭痛		2	4	1	1	0	2	1	1	0	0	1	1	14
気分不快		0	4	8	7	0	1	3	4	2	1	4	1	35
貧血		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
切傷		7	3	9	4	0	3	8	6	3	3	0	1	47
外傷		1	1	2	0	0	1	0	1	1	1	0	1	9
化膿		0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2
捻挫・打撲		5	4	3	1	2	0	5	6	2	2	2	1	33
骨折・脱臼		0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	2
腰・筋肉痛		1	0	2	7	0	2	2	0	1	1	0	0	16
火傷		2	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	0	5
皮膚疾患		1	0	0	4	0	0	1	0	3	1	0	1	11
昆虫刺傷		1	1	2	2	0	0	1	0	0	0	0	0	7
眼疾患		2	2	1	1	1	2	1	1	1	1	1	0	14
歯疾患		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
耳鼻科疾患		0	0	0	1	0	0	2	0	1	0	0	0	4
生理痛		4	3	3	2	0	2	3	1	0	1	0	1	20
泌尿器疾患		0	0	1	1	0	0	0	0	0	1	0	0	3
口腔疾患		1	1	0	0	0	0	0	1	0	1	0	0	4
精神疾患		10	12	8	4	1	1	4	4	2	3	5	4	58
その他の疼痛		1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
その他		7	4	14	4	3	6	7	6	8	1	1	2	63
合計		48	47	70	51	9	25	50	48	35	32	18	15	448

年間入室者数は前年度より約7.7%減少しているが、精神疾患に関する入室者は2.8%増加している。精神科医との面談数は昨年度と変化なし、必要時本人と相談のうえ精神科医との面談につなげ症状の悪化を防ぎ大学生活に支障をきたさぬようフォローしていく必要がある。

7. 各キャンパス業務内容利用状況

①青山キャンパス

1) 保健管理センター全来室者数

(2018年3月31日現在)

来室理由	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
健康診断者数	12395	0	0	0	0	614	0	0	0	0	0	0	13009
外部受診者数	41	22	22	12	7	15	5	2	2	2	0	0	130
保険診療者数	1	0	4	1	0	1	1	0	1	2	0	1	12
証明書発行者数	0	10	7	2	3	6	0	3	2	1	0	10	44
救急処置・検査等	1513	562	396	318	79	188	296	312	300	155	127	92	4338
自動血圧計	15	73	85	57	12	24	22	17	9	6	3	3	326
体脂肪計	0	14	28	5	0	0	1	0	8	3	0	0	59
合計	13965	681	542	395	101	848	325	334	322	169	130	106	17918

2017年度の保健管理センター全来室者数は2016年度の3924件から4338件と増加している。

「救急処置・検査等来室者」の内訳をみると、ベッド休養での利用件数が2016年度の547件から2017年度は811件と増加しており、全来室者数の増加の要因の一つとなっている。また、飲食店等で夜間～早朝にかけて飲酒した学生が、帰宅しないまま授業を受けに大学に来校後酩酊状態で発見され、保健管理センターに車椅子で搬送される事例が5件あった。酩酊状態での保健管理センター利用は例年にない事例であり、急きょ、適正飲酒のセミナーを開催し再発予防に努めたが、今後も引き続き学生に対する飲酒教育が必要であると考えられる。

2) 精神科医面談者数（教職員はセカダラーを含めた休職・復職・ストレスチェック関係の面談もカウント）

(2018年3月31日現在)

身分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
学生	8	9	16	9	1	3	10	8	7	3	2	3	79
教職員	4	2	7	5	1	1	3	2	19	9	2	5	60
合計	12	11	23	14	2	4	13	10	26	12	4	8	139

精神科医の面談件数は139件で、学生、教職員共件数が増加しているが、教職員に限っては、休職、復職関係、ストレスチェック関係の面談が主で、精神衛生相談としての面談件数は例年通りである。

学生に関しては、精神科医との面談の結果、治療が必要であると判断された場合は精神科へ紹介すると共に、精神的に不安定な状況の時には、保健スタッフが落ち着くまで話を聞き、また、ベッド休養を促すなどの対応を行っている。

3) 事故・病院搬送及び救急車依頼件数

(2018年3月31日現在)

内訳	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
身分	学生	2	1	2	6	0	3	0	6	1	1	0	22
	教職員・その他	0	0	0	0	0	1	0	1	0	0	0	2
合計	2	1	2	6	0	4	0	7	7	1	0	0	24
原因	事故	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1
	疾病	2	1	2	5	0	4	0	7	1	1	0	23
対応	救急車依頼	1	1	2	3	0	3	0	6	0	0	0	16
	病院搬送	1	0	0	3	0	1	0	1	1	1	0	8

救急車の搬送は2016年度の7件から2017年度は16件と増加した。学生の救急搬送件数は13件で、教職員は3件であった。現病歴に起因する症状での救急搬送は6件であり、その他は原因が特定できない内科的症状による救急搬送が主であったが、入院に至る重症例はなかった。

4) 夜間開室時間帯の利用者数(救急処置・検査等保健管理センター利用状況)(2018年3月31日現在)

内訳 月	身 分						その他	合計	内 容										時 間	
	昼間部		夜間部		教職員				計 測	投 薬	処 置	ベ ッド 休 養	医 師 面 接	病 院 紹 介	救 急 搬 送	問 診 調 査 ・ 相 談	その他	17:00 18:00	18:00 19:00	
	男	女	男	女	男	女														
4月	21	6	0	0	2	0	0	29	3	1	5	7	0	4	0	12	2	14	15	
5月	17	15	0	0	0	1	1	34	5	1	7	10	1	5	0	4	6	10	24	
6月	6	12	0	0	1	2	1	22	2	3	3	8	1	2	0	5	2	13	9	
7月	7	2	0	0	3	1	0	13	2	2	3	7	0	3	0	0	0	6	7	
8月	0	1	0	0	1	0	0	2	1	0	1	0	0	0	0	0	0	1	1	
9月	3	4	0	0	0	2	0	9	1	2	4	3	0	1	0	2	0	6	3	
10月	10	8	0	0	0	2	0	20	9	4	6	3	1	2	0	2	0	8	12	
11月	7	2	0	0	3	0	1	13	3	0	4	5	0	0	2	3	0	5	8	
12月	2	5	0	0	1	1	2	11	2	4	5	2	0	1	0	1	0	5	6	
1月	3	5	0	0	1	0	0	9	6	2	0	2	0	0	0	0	0	7	2	
2月	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
3月	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
合計	76	60	0	0	12	9	5	162	34	19	38	47	3	18	2	29	10	75	87	

17時～18時30分の利用者数は、昨年度と大きな変化はないが、18時以降の利用者が、60名から87名と、やや増加している。

②相模原キャンパス

1) 保健管理センター全来室者数

(2018年3月31日現在)

来室理由	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
健康診断者数	4304	258	0	96	0	351	0	0	0	0	0	0	5009
外部受診者数	12	11	2	1	0	10	1	3	0	0	0	2	42
保険診療者数	1	0	2	1	1	1	1	0	2	1	0	1	11
証明書発行者数	0	1	1	0	0	1	0	2	0	0	0	0	5
救急処置・検査等	255	86	74	63	10	39	110	99	68	41	20	27	892
自動血圧計	20	10	22	12	6	5	15	12	13	56	6	21	198
体脂肪計	0	0	5	0	3	17	2	2	0	0	1	2	32
合計	4592	366	106	173	20	424	129	118	83	98	27	53	6189

2) 精神衛生相談者数 (精神科医)

(2018年3月31日現在)

人数	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
人数	4	4	2	0	0	0	1	0	4	0	2	1	18

3) 事故・病院搬送及び救急車依頼件数

(2018年3月31日現在)

内訳	月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
身分	学生	0	0	1	1	0	0	1	0	0	0	0	0	3
	教職員・その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計		0	0	1	1	0	0	1	0	0	0	0	0	3
原因	事故	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	疾病	0	0	1	1	0	0	1	0	0	0	0	0	3
対応	救急車依頼	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1
	病院搬送	0	0	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	2

地球社会共生学部の学生は留学が必須科目となっているが、6月に留学から帰国する学生に関しては、4月の健康診断を受診できないため、7月に指定の期日を設け、外部受診にて健康診断を受ける体制とした。

学生有機溶剤・特定化学物質健康診断対象者に関しては、2016年度までは各研究室の担当教員に依頼し対象者をピックアップしていたが、環境安全センターが設立された事に伴い、2017年度より、環境安全センターの試薬管理システムから抽出する体制をとった。抽出条件が明確になった事で、学生の特殊健康診断の対象者数は減少したが、受診率は例年通り100%である。

8. 行事のための救急待機保健管理センター利用状況

実施日		キャンパス	行事内容	男	女	合計	内容	
2 0 1 7 年	4/1	土	青	入学式	2	0	2	診断書受取(1)気分不快(1)
	5/20	土	青	専門職大学院入試	0	1	1	検査結果説明(1)
	6/10	土	相	Aoyama Rikei Girls フェア	0	1	1	頭痛 (1)
	7/1	土	相	大学院博士前期課程入試	0	0	0	
	7/8	土	青	専門職大学院入試	1	1	2	腹部症状(1)打撲(1)
	7/16	日	相	オープンキャンパス	0	0	0	
	8/3-5	木-土	青	オープンキャンパス	6	19	25	外傷(6)貧血症状(4)尿検査提出(1) 生理用品希望(2)感冒症状(1) 事情聴取(1)昆虫刺傷(2)生理痛(2) 気分不快(1)熱傷(1)車椅子貸出(1)頭痛(1) 受診状況報告(1)眩暈(1)
	9/9	土	相	大学院博士前期課程入試	0	0	0	
	9/16	土	青	推薦・特別・編入・転学部陣云学科入試	1	0	1	胃腸症状(1)
	9/23	祝	青	青山学院大学同窓祭	0	1	1	外傷(1)
	9/30	土	青	推薦・特別・編入・転学部陣云学科入試	2	1	3	感冒症状(3)
	10/7	土	青	専門職大学院入試	0	1	1	爪切り貸出(1)
	10/8	日	青	専門職大学院入試	0	0	0	
	10/9	祝	青	専門職大学院入試	0	0	0	
	10/7・8	土・日	相	相模原祭	1	0	1	皮膚疾患 (1)
	10/14	土	青	推薦・特別・編入・転学部陣云学科入試	0	2	2	人間ドック結果提出(1)受診結果報告(1)
	10/21	土	青	専門職大学院入試	0	0	0	
	10/28	土	青	青山学院募金イベント	0	2	2	打撲(1)感冒症状(1)
	11/3-5	金-日	青	青山祭	6	13	19	外傷(1)昆虫刺傷(2)感冒症状(2)捻挫(1) 貧血症状(2)頭痛(3)熱傷(2)打撲(2)刺傷(1) 頭部外傷(1)痙攣発作(1)気分不快(1)
	11/11	土	青	推薦・特別・編入・転学部陣云学科入試	3	0	3	気分不快(1)鼻出血(1)感冒出血(1)
11/11	土	相	推薦入試	0	0	0		
11/23	祝	青	推薦・特別・編入・転学部陣云学科入試	0	1	1	生理用品希望(1)	
11/25	土	相	推薦入試	1	1	2	感冒 (2)	
11/25	土	青	推薦・特別・編入・転学部陣云学科入試	0	0	0		
12/10	日	青	専門職大学院入試	0	0	0		
2 0 1 8 年	1/13・14	土・日	青	センター入試	2	2	4	気分不快(1)感冒症状(1)その他(2)
	1/20	土	青	専門職大学院入試	1	0	1	打撲(1)
	2/3	土	青	専門職大学院入試	0	0	0	
	2/7・10・11・ 13・14・15・ 18・19・21	月-日	青	一般入試	43	25	68	頭痛(8)胃腸症状(4)気分不快(15)胃痛(1) 感冒症状(10)外傷(5)嘔気(8)下痢(1) 貧血症状(1)切傷(1)生理痛(1)腰痛(2) 打撲(1)呼吸苦(1)化膿(2)その他(7)
	2/17	土	青	国際マネジメント研究科入試	0	0	0	
2/24	土	青	会計プロフェッション研究科入試	0	1	1	感冒症状(1)	
3/24	土	青	学位授与式	1	5	6	打撲(1)気分不快(1)貧血症状(2)その他(2)	

9. 各種情報処理

①学生健康診断処理関係

月	処理内容	保健管理センター処理	事務システム室処理
4月	保健データ管理画面アップデート開始	4/1～通年	
	学生健康診断検尿データアップデート処理	4/6・7・10～12・14・17～20	
	学生健康診断データ(HCCALT)アップデート処理	4/12	4/12
	春プリントファイル更新処理		4/12・24
	学生健康診断有所見者リスト出力処理	4/13	
	健康診断証明書ファイル作成		4/24
	健康診断結果通知打出し処理	4/24	
	Web版健康診断結果処理	4/24	4/24
7月	学生健康診断データ(相模原HCCALT)アップデート処理	7/18	7/18
	春プリントファイル更新処理		7/19
	地球共生学部留学帰国生の健康診断証明書ファイル更新処理		7/21
11月	学生現在症呼出しリスト出力処理	11月初旬	
3月	学生身分異動統計処理	3/22	
	学籍新年度処理 (SAMSHOUB 新年度学籍情報参照開始)		3/27
	新年度離籍分離処理	3/27	
	メモデータ離籍分離処理	3/27	
	保留データ離籍分離処理	3/27	
	学生健康診断対象者名簿作成処理	3/27	
	障害のある学生の離籍分離処理	3/27	

②教職員健康診断処理関係

月	処理内容	保健管理センター処理	人事部処理
6月	人事部人事課より 教職員退職者、定期健康診断受診対象者リスト提供		6/8
	教職員健康診断Accessデータ作成処理	6/8	
	教職員有所見者呼出しリスト出力処理	6月(各キャンパスごと)	
9月	人事部給与課より6月以降就任、退職者リスト提供		9/4
	教職員健康診断Accessデータ更新処理	9/4	
10月	教職員健康診断結果アップデート処理	10月中旬	
	人間ドック結果用Accessデータ作成処理、適宜更新	10月中旬～通年	
	私学共済提出用健康診査結果処理	10月中旬～通年	
11月	教職員有所見者呼出しリスト出力処理	11月(各キャンパスごと)	
1月	教職員有所見者呼出しリスト出力処理	1月(各キャンパスごと)	
2月	人事部人事課より雇入れ時健康診断対象者リスト提供		2月～通年
	雇入れ時健康診断Accessデータ処理	2月～通年	
3月	教職員有所見者呼出しリスト出力処理	3月(各キャンパスごと)	
	雇入れ時健康診断結果アップデート処理	3月～通年	